

ルチアめる

2022年 年頭所感

『社会復帰支援』と『在宅支援』
に向けてスタートを切る1年に



統合失調症チームのみなさん

- SPECIAL TEAM 5 / 統合失調症チーム
- FOCUS / 聖ルチア病院のデイケア
- 聖ルチア病院のプロフェッショナル / 事務部

2022年
年頭所感

『社会復帰支援』

『在宅支援』に向けて

スタートを切る1年に

社会医療法人聖ルチア会 聖ルチア病院 理事長 院長 大治 太郎

5つの疾患別専門治療チームの確立と、人材育成を実現

あけましておめでとうございます。旧年中にお世話になりました皆様方に、改めて御礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年は「5つの疾患別専門治療チームの確立」と「人材育成」に力を入れた年でした。当院は、疾患の種類や年代が多岐にわたる精神科疾患について、それぞれの分野で専門性を高め、難治性や重度の患者様に適切な治療をできる病院を目指しています。2020年度から「統合失調症」「うつ病」「認知症」「児童思春期疾患」「依存症」の5つの疾患について多職種で構成した専門チームを立ち上げ、専門性の高い治療の確立に取り組み始めました。2年目の昨年は、各チームで専門的な治療やリハビリの成果が出始め、さらに病院の建て替え工事が完了したことで病棟を整理でき、より疾患や年代に合わせた治療の提供が可能になりました。

人材育成では、①診療能力を上げる、②マネジメント人材を育てる、の2本柱に注力してきました。①は、5つの疾患治療について、様々な職種の職員に院外で最

先端の診療を学んでもらいました。職員が研修で学んだこと(=種)を当院に持ち帰ったときに、改革を受け入れる組織(=土壌)ができていなければ根付きませんので、組織の受け入れ態勢づくりも並行して進めています。②のマネジメント人材育成では、各部門の管理職が、九州生産性本部の九州生産性大学経営講座を受講。仕事の品質管理や人材育成、作業効率向上など様々なテーマを、他業界の方々と共に学んでいます。今後も、医療の質と経営の両輪で、地域に求め続けられる組織づくりを目指します。





デイケア・訪問看護でも疾患別の専門的な支援を目指す

当法人では、退院後に社会復帰を目指す場所として、精神科デイケアや訪問看護ステーション、グループホームなどを運営しています。病院で5つの疾患の専門治療を追求した結果、これまで治療の効果が出にくかった重度の患者様が回復し、退院や社会復帰を目指せるケースが増えました。そこで今年、次のステップとして、退院後の「社会復帰支援」と「在宅支援」の強化に取り掛かります。

具体的には、デイケア施設の建て替え、グループホームの増設、訪問看護ステーションの機能強化を計画中です。デイケア施設では、これまでは様々な疾患の患者様が混在してプログラムを実施していましたが、今後は、病院での5つの専門治療から継続する形で、専門的な社会復帰支援の実施を目指します。現在「児童デイケア」などがスタートしていますが、5つの疾患全てで、より専門性を追求できるよう、ハード面を整えます。開放的で患者様の意欲が向上するようなデザインの建物をと考えています。具体的には準備が整いしだいで工事に着手して、2～

3年をかけて完成を目指します。

グループホームは、退院後にご家族との暮らしや一人暮らしに戻ることを目指して、共同生活する場です。退院できる方が増えたことで需要が高まっていますので、グループホームの増設なども検討しています。訪問看護ステーションでは現在、看護師や作業療法士がご自宅に伺い、服薬や疾患の管理をしています。今後は、在宅でもより専門的に疾患へのアプローチができるよう、変革に取り掛かります。

これまでは、治療によって症状が落ち着くことを目指してきましたが、今はもう一歩進み、学生は復学、大人は家事や仕事への復帰を目指す段階になりました。一方で社会も、多様性（ダイバーシティ）を受け入れる考え方が広まりつつあり、今後、精神疾患や障害のある方が存分に活躍する体制もできるのではないのでしょうか。患者様がご自宅や社会に復帰し、人の役に立って生きがいを感じられることを目指して、当法人も今年新たな一歩を踏み出します。

地域の皆さまと共に実現する

これまで申し上げた目標を達成するためには、地域の就労支援施設や学校、介護施設、行政など、様々な連携先の皆様との協力体制が重要だと考えています。その他にも、一般科・精神科の医療機関、児童相談所や企業、警察など様々な方のご協力があることで、必要としている患者様に必要な医療を提供しています。

弊誌「ルチアめる」では、そうした関係機関の皆様方のお役に立つ情報を発信したいと考えています。地域の健康と幸福の増進を目指し、協力し合える関係をつくる一助になればと思いますので、ぜひお手にとってご覧いただけますと幸いです。



聖ルチア病院の 統合失調症治療

医師 山田 茂人

薬局長
薬剤師 西村 寛

— 統合失調症はどんな病気？

山田 統合失調症は脳神経の病気で、100人に1人が発症する、身近な病気です。症状は、幻覚や妄想などの陽性症状と、意欲低下や自閉的になるなどの陰性症状があります。発症すると、症状が重くなる「増悪」と、軽くなる「寛解」を繰り返し、一生涯付き合わなければなりません。若いときに発症することが多いですが、女性は40代での発症も多いです。

— 統合失調症の治療

山田 1960年代後半にたくさんの良い薬（抗精神病薬）が開発されました。現在の統合失調症治療は、一般的には、薬物療法、精神療法、作業療法が主になっています。

西村 従来の抗精神病薬では治療効果がない患者さんが、20%～30%ほどいるといわれています。それらの患者様には「クロザピン」という治療抵抗性統合失調症治療薬で治療する方法があり、当院でも使用しています。クロザピンには、白血球が減少し感染症を起こしやすい、高血糖や心筋症になりやすいなどの副作用があるため、使用には特に注意が必要です。そのため様々な基準をクリアした医療機関でしか取り扱うことができず、福岡県内には26施設のみです。当院ではクロザピンを使用するために、30人以上の職員がクロザピンのコーディネーターの資格を取得しています。また、万が一重篤な症状になったときには、大学病院のクリーンルームを使用できるよう連携体制を整えています。安心して薬を飲んでいただくために多職種チームでサポートしています。

山田 当院では、5つの疾患別専門治療チームの1つとして、多職種で構成する「統合失調症チーム」で専門的な治療をしています。薬物療法で状態が落ち着いたら、退院や社会復帰に向けて、疾患教育や作業療法を行います。統合失調症の特徴として、症状が重いときには病気を自覚できない方が多いので、疾患教育は重要です。また、デイケアで社会性を身に付け、退院や社会復帰した後に孤立しないようサポートすることも大切です。

西村 退院後は、自分で服薬を中断して症状が悪化することもあります。患者様と共に飲みやすい剤型の薬に決めたり、必要に応じて貼り薬やLAI（持続性注射剤）などを選択します。

— 連携先の皆さまにお伝えしたいこと

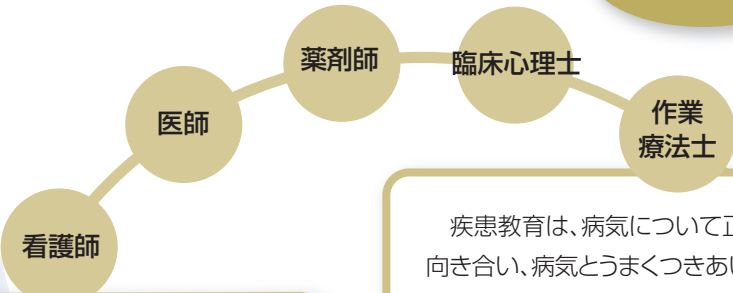
西村 当院ではクロザピンを使用した治療ができるので、心療内科や精神科のクリニックで、抗精神病薬が効かずに困っている、または副作用のために抗精神病薬を使用できない患者様がいらっしゃいましたら、ぜひご相談ください。適切な治療で、また自宅に戻ることを目指してサポートします。

山田 統合失調症があっても、適切な治療やリハビリで、寛解状態のときには地域やご自宅で過ごすことができます。統合失調症について理解が広まり、退院後に入所できる施設や就労先が増えると良いと思います。もしもわからないことや不安なことがあれば、ご相談ください。ぜひ統合失調症について知っていただきたいです。

SPECIAL TEAM 5 vol.4 統合失調症チーム

スペシャルチーム ファイブ

聖ルチア会では、20年度から「統合失調症」「うつ病」「認知症」「児童思春期疾患」「依存症」の5つの分野について、多職種で編成した専門チームをつくりました。それぞれの分野で最新の治療や社会復帰への支援を追求し、専門性を高めています。今回は、「統合失調症チーム」についてご紹介します。



統合失調症の患者様の多くは、寛解と増悪を繰り返します。患者様が病気とうまく付き合いながら日常生活ややりたいことができる状態にすることを目指しています。患者様がそれまでのような生活をしていて、どのような状態を目指すのかなども、多職種と情報共有しながら、治療に取り組んでいます。

患者様は症状を言葉で伝えられないこともあります。看護師は昼夜問わず患者様と関わる時間が多いので、体調だけでなく、生活や睡眠の状況などから変化を把握するよう努めています。

また私は「クロザピン」のコーディネーターとして、安全に内服を継続できるよう、服薬後の変化を的確に観察していくことも大切な役割の一つと感じています。

看護師 井手 拓也

疾患教育は、病気について正しい知識を持って自分と向き合い、病気とうまくつきあいながら自分らしく生活できるようにすることを目的に行っています。

中でも今特に力を入れているのが「クライシスプラン」です。統合失調症は症状が良くなったり悪くなったりを繰り返すので、悪化し始めたときに早めに自分で気づいて対処できるように、あらかじめ計画を立てておきます。

患者様が病気と折り合いをつけて自分らしく生きていけるようにサポートしていきます。

作業療法士 宮本佳代子



クロザピンの「コーディネーター」って？

クロザピン 従来の抗精神病薬が効かない、または副作用が強く使用できない患者様に使用する薬

クロザピンを使用するには、要件を満たして登録が必要です

- ◎採血当日に血液検査などの結果を得ることができる
- ◎好中球減少症や無顆粒球症に対応できる
- ◎糖尿病内科医との連携が可能
- ◎CPMS登録医、CPMSコーディネート業務担当者、クロザリル管理薬剤師がそれぞれ2名以上いる

コーディネーター CPMSコーディネート業務担当者のこと

CPMS規定に従った血液検査の実施を管理したり、検査のスケジュールの作成なども行っています。

※CPMS=クロザリル患者モニタリングサービス

統合失調症治療チームの疾患教育

全5回1クール

- ① 病気と症状について
- ② 治療について(薬物療法、リハビリテーション)
- ③ 社会資源について、食事や栄養について
- ④ 注意サインについて
- ⑤ 入院生活の振り返りと目標設定

患者様同士で悩みや体験を分かちあいながら、疾患に対する理解が深まるようグループで実施しています。

看護師、作業療法士、薬剤師、精神保健福祉士と多職種で関わっています。

聖ルチア病院のデイケア

今最も注目の情報にフォーカス!

FOCUS

聖ルチア病院の向かい側に、デイケア専用の施設があるのをご存知ですか？
精神科疾患をお持ちの利用者様が、地域で生活しながら、学校や仕事に復帰するためのリハビリテーションを提供しています。



聖ルチア病院のデイケア、どんなところ？

当院のデイケアには「精神科デイケア」と「重度認知症患者デイケアすずらん」があります。今回は、精神科デイケアについてご紹介します。

精神科デイケアには、作業療法士、看護師、公認心理師、精神保健福祉士などの専門職が所属し、自分らしく生きがいを持って暮らすためにリハビリを行っています。

以前は、長期間に渡って利用する方が多かったのですが、最近では、仕事を再開する（復職）、学校に戻る（復学）などの目標に向けてリハビリを行い、数カ月で卒業される方が多くなりました。統合失調症、気分障害、発達障害、依存症など様々な疾患の方が利用されています。

リハビリのプログラム

デイケアでは、専門職のスタッフと患者様が意見を出し合いながら目標を設定し、目標に向けて、プログラムを組み合わせて利用計画書を作ります。プログラムは全部でなんと40種類！疾患の種類や、年齢、体の状態、趣味嗜好などに合わせてプログラムを決めていきます。

精神科デイケアでは、午前と午後それぞれ5つのプログラムを実施しています。利用者様は午前と午後に1つずつプログラムを選んで取り組みます。

	AM	PM
月曜日	・リワーク	・軽音楽部
火曜日	・健康ウォーク	・マッスルン
水曜日	・お仕事相談	・スポーツ
木曜日	・卓球部	・ヲタクラブ
金曜日	・脳トレ	・福祉相談



プログラムの一部をご紹介します

卓球部

目標設定が簡単で老若男女楽しめるスポーツ。障害者スポーツの全国大会で、福岡県・佐賀県代表選手として選ばれました！

喫茶やまぼうし

2週間に1回喫茶店をオープン。接客の練習はもちろん、メニュー決めや金額設定も行います。就労継続支援事業所B型利用へのステップアップにもつながります。

リワーク

仕事に復帰するため、また復職後に再発しないためのプログラム。休職前の働き方や考え方を振り返り、再発しないための考え方を身に着けます。

児童デイケア

昨年6月に新しくスタート。子ども同士で運動や学習、調理実習などを行うことでコミュニケーション能力を身に着けます。復学の支援もしています。

デイケアの利用について

精神科デイケアは医療保険が適用されるため、介護保険と併用して利用することもできます。また、「自立支援医療」の制度を使えば、自己負担額は上限の金額まで、必要な支援を十分に受けることができます。

デイケア（10-16時）、デイトナイトケア（8-18時）、ショートケア（午前または午後のみ利用）など、生活に合わせて利用時間も調整できます。ぜひお気軽にご相談ください。

デイケアでも病院と同様に、疾患や年代に合わせた専門的なリハビリを柔軟に行っています。デイケアでの取り組みや患者様の様子を、ご家族や施設職員様、学校や就労先の方と情報交換し、スムーズに社会復帰できる体制をつくっていただけたいと思います！

社会復帰施設係長・作業療法士 越智 哲平



デイケア利用 お問い合わせ電話番号

☎0942-33-3900 (直通)

代表取締役 野中 信義 さん

聖ルチア病院の給食に、こんにやくとところ天を提供していただいている須山商店さん。おいしくて健康にも良いこんにやくは給食によく登場しますし、ところ天は夏の人気メニューです。

須山商店の工場は、聖ルチア病院のすぐ隣にあります。須山商店はなんと創業130年。聖ルチア病院が70年前にできた当時から、すぐそばで見守り続けてもらっています。

○野中信義さんのコメント

「美味しい、良い品物をつくる」をモットーに、原料にこだわってこんにやく・ところ天をつくっています。聖ルチア病院には給食用に納品するほか、職員さんが仕事終わりにご自宅用にご買って帰られることもあります。

近隣に住む者としても付き合いは長いです。外来の患者さんが道に迷っている時には声をかけて案内したり、病院内の患者さんと手を振り合ったりもします。病院の改築について地域住民に説明されたときには、一番に手を挙げて賛成しました。街なかの、人とのふれあいがある場所で開放的に過ごせる聖ルチア病院は、患者さんにとってとても良い環境だと感じています。



会社情報

株式会社須山商店
〒830-0048
福岡県久留米市梅満町1202
TEL 0942-32-2971

株式会社 須山商店

こんにやく・ところ天の製造卸会社。たくさんの学校や病院の給食に使用されています。道の駅くるめや、肉のナカツルさんでも買うことができます。

INFORMATION
インフォメーション

家族セミナーのご案内

患者様のご家族の皆様へ、疾患についての情報などをお話しています。ご家族同士の交流の場にもなっています。

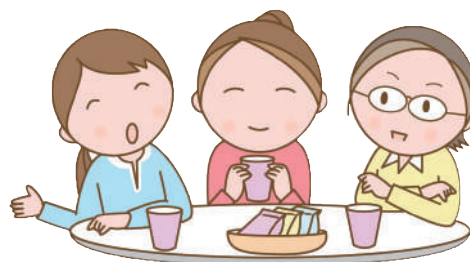
スケジュール

- 依存症 毎月第1土曜日 開催中
「CRAFTを用いた家族支援プログラム」
- 認知症 2022年1月8日(土)
「認知症と薬」 講師:堀江和美(薬剤師)
- 統合失調症 2022年1月15日(土)
「家族はどう寄り添えばよいのか」講師:山田茂人(医師)
- 児童思春期 2022年2月12日(土)
「スクールソーシャルワーカーの役割」

担当: 平田・井手

児童思春期親子支援プログラム
「サン・フラワーの会」

保護者がお子様の疾患や特性を知り、対応方法を学ぶペアレント・トレーニングの場です。10回1クールで行っています。2022年1月より新クールがスタートします。次回以降のクールについても、お気軽にお問い合わせ下さい。



担当: 2病棟 山口、外来 尾崎

問い合わせ先: 聖ルチア病院 0942-33-1581



事務部は、裏方で病院の経営を支える縁の下の力持ちです。病院の顔として患者様や院外の方に接することに加えて、業務では正確さが求められます。「事務部」の業務内容は多く、多岐にわたります。今回は事務部のお仕事を、4つの分野ごとにご紹介します。

医事

受付、会計、処方箋発行など、外来患者様との関わりが多い部署です。レセプト請求、入院費請求書類作成など、患者様のお支払いに関する業務も多いので、正確な業務を心がけています。

総務

病院内の設備、物品、職員に関する業務を担います。施設の保守点検や修理、物品の発注と検品、職員の健康診断に関する業務などです。施設基準の申請書類作成など、専門知識が必要な業務も行います。

病棟事務

入退院に関する業務を行います。患者様によっては、入院中の日用品の購入費用や、保険証などを病院が預かって管理することもあります。不安なく入院していただけるように、わかりやすく丁寧な説明を心がけています。

経理

当院から外部へのお支払いについて取りまとめるほか、経費のチェック、帳簿の整理などを行います。病院の出納に関する事で、院外からの信頼にもつながる仕事なので、正確性を第一に業務にあたります。

連携先の皆さまへのメッセージ

事務部は院外との関わりが多い部署なので、行政、病院、クリニック、施設などの皆様とも積極的に情報交換できたらと考えています。皆様のご意見やご提案をもとに、より信頼される病院をめざしていきたいです。

事務部 係長 加藤 千草



《対象疾患例》

統合失調症

気分障害
(うつ病)

認知症
関連疾患

児童思春期
発達障害

依存症
(アルコール・薬物)

周産期の
メンタルヘルス

てんかん

摂食障害

《診療時間》

	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:30 (受付時間 8:30~12:00)	○	○ rTMS 外来	○	○ rTMS 外来	○	○	×
14:00~17:00 (受付時間 13:00~16:00)	○	○	○	×	○	×	×

受診相談 「患者様のご紹介」「初めての受診」

受診相談窓口 **地域医療連携室**
受付時間 **月~土曜日 9時~16時**

緊急時は夜間、日祝日も対応します。
まずはご連絡ください。



社会医療法人 聖ルチア会
聖ルチア病院
St. Lucia's Hospital

〒830-0047 福岡県久留米市津福本町1012
TEL0942-33-1581 (代表)
FAX 0942-33-1586

関連施設

- ・精神科デイケア、デイナイトケア、ショートケア
- ・重度認知症患者デイケア すずらん
- ・訪問看護ステーション クローバー
- ・訪問看護ステーション クローバー おおき
- ・グループホーム ルピナス

